

PICK UP!!

# お職員の推し本



なぜ働いていると本が読めなくなるのか

三宅香帆  
Miyake Kaho

仕事とスマホで毎日を終えたくないあなたへ

2023 新書大賞  
2024 年間売上 1位  
30万部突破!  
集英社新書

なぜ働いていると本が読めなくなるのか

三宅 香帆／集英社

タイトルを見て「私のことかな…」と思った人も多いかもしません。私もその一人。学生時代はあんなに本を読んでいたのに、気づけば最近読めていない！っていうかこれ、私だけの現象じゃなかったんですね…？

自称文学オタクの著者も、就職してから本が読めなくて悩んでいたそう。「なぜ」を日本人の「労働の歴史」と「読書の歴史」から探ります。時代ごとに読書と日本人のかかわりを見ていくと、「確かにそんな時代だった。身に覚えがある」と納得することも多いのではないでしょうか。

「働いているとこの本すら読めない」なんて嘆かずに、ぜひチャレンジを。読書に対する考え方とハードルが下がること間違いなしです。

## 貯まらない生活はもうやめよう

ミニマリストTakeru／KADOKAWA

モノを減らすと、モノとの向き合い方だけでなく、お金や時間との向き合い方が変わる…

ミニマリストになったことで収入も資産も大きく増やしたユーチューバーでもある著者が、自身の体験談をもとにお金の貯め方・使い方・増やし方を紹介しています。

冬にできなかった片付けなどはありませんか？

これから暖かくなってくる今の時期に、すっきりモノを減らして、身軽に過ごしていきましょう！



## うそコンシェルジュ

津村 記久子／新潮社

日常の困ったことをやり過ごし、目の前の「今」を生き延びるための11篇の物語。

その中の「うそコンシェルジュ」は、誰かを助けるために、まじめに嘘を考える請負人の話です。誰もが「嘘つきは泥棒の始まり」と教えられ、嘘をつくことにはうしろめたさを感じるはず。しかし、優しい嘘や、その場をやり過ごすための嘘もある。素直に、正直に生きたい半面、そういうこともあります。

淡々とした文面ですが、笑いあり、共感あり、そこまで考えなくてもいいのでは？とつっこみながらも楽しめる小説です♪

